（損益計算書関係）

１．ファイナンス・リース取引が損益に与える影響額は△1,587,273円であり、当該影響額を除いた当期総利益は443,294,733円である。

２．臨時損失

（その他の内訳）

| | |
|---|---|
| 経過勘定費用化漏れに係る修正 | 1,447,082円 |
| 減価償却費計上額修正 | 5,236,733円 |
| 建設仮勘定計上額修正 | 2,052,647円 |
| 除却資産計上漏れに係る修正 | 844,482円 |
| その他の修正 | 11,050,645円 |
| 計 | 20,631,589円 |

３．臨時利益

（その他の内訳）

| | |
|---|---|
| 収益化漏れに係る収益化 | 5,069,054円 |
| 除却資産計上漏れに係る修正 | 1,126,815円 |
| 建設仮勘定計上額修正 | 982,799円 |
| 災害復旧費補助金立替に係る財源振替 | 27,498,200円 |
| その他の修正 | 17,370,806円 |
| 計 | 52,047,674円 |

（キャッシュ・フロー計算書関係）

１．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

| | |
|---|---|
| 現金及び預金 | 23,704,644,466円 |
| うち、定期預金 | 1,677,638,260円 |
| 差引資金期末残高 | 22,027,006,206円 |

２．重要な非資金取引

⑴　現物寄附による資産の取得

| | |
|---|---|
| 建物 | 1,870,000円 |
| 船舶 | 600,000円 |
| 車両運搬具 | 1,760,000円 |
| 工具器具備品 | 307,913,621円 |
| ソフトウェア | 11,696,920円 |
| 土地 | 10,422,815円 |
| 合計 | 334,263,356円 |

⑵　ファイナンス・リースによる資産の取得

| | |
|---|---|
| 工具器具備品 | 447,985,838円 |
| 車両運搬具 | 6,158,055円 |
| ソフトウェア | 19,407,614円 |
| 合計 | 473,551,507円 |

⑶　不要財産の現物による国庫納付

| | |
|---|---|
| 土地 | 109,959,613円 |
| 合計 | 109,959,613円 |

（重要な債務負担行為）

当該事業年度に契約を締結し、翌期以降に支払いが発生する重要なものは以下のとおりです。

| 件名 | 契約額 | 翌期以降の支払予定金額 |
|---|---|---|
| （苫小牧工業高等専門学校）<br>苫小牧工業高専情報エレクトロニクス棟（仮称）新営工事 | 333,850,000円 | 200,310,000円 |
| （苫小牧工業高等専門学校）<br>苫小牧工業高専情報エレクトロニクス棟（仮称）新営電気設備工事 | 74,250,000円 | 74,250,000円 |
| （苫小牧工業高等専門学校）<br>苫小牧工業高専情報エレクトロニクス棟（仮称）新営機械設備工事 | 102,300,000円 | 102,300,000円 |
| （東京工業高等専門学校）<br>東京工業高専第２寄宿舎新営その他工事 | 537,449,000円 | 322,786,200円 |
| （阿南工業高等専門学校）<br>阿南工業高専高度情報教育センター新営工事 | 330,000,000円 | 198,000,000円 |
| （阿南工業高等専門学校）<br>阿南工業高専混住型学生寮Ｂ棟新営その他工事 | 774,400,000円 | 508,200,000円 |
| （阿南工業高等専門学校）<br>阿南工業高専混住型学生寮Ｂ棟新営その他電気設備工事 | 105,490,000円 | 63,294,000円 |
| （弓削商船高等専門学校）<br>弓削商船高専記念会館棟新営工事 | 282,700,000円 | 282,700,000円 |
| （有明工業高等専門学校）<br>有明工業高専寄宿舎新若葉棟新営その他工事（完成払い） | 528,000,000円 | 211,200,000円 |
| （本部支店）<br>包括ソフトウェアライセンス　一式 | 120,184,442円 | 120,184,442円 |

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

（金融商品の時価等関係）

１．金融商品の状況に関する事項

当法人は、運営費交付金により短期的に余裕金が生じた際には、短期の預金及び公債等に限定した運用を行っております。また、寄附金受入により余裕金が生じた際には、短期又は長期の預金及び公債等に限定した運用を行っております。

２．金融商品の時価等に関する事項

現金は注記を省略しており、預金及び未払金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。